

令和7年度 第1回 藤沢市立鵜沼中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2025 年 5 月 8 (月) 9:30 から
場 所 鵜沼中学校 3 階 PC 室

出席委員	渡邊 美子 (会長・鵜沼ふれあいトライアングル会長) 窪島 義浩 (副会長・鵜沼中学校校長) 和田 まや子 (青少年育成協力会委員) 浅場 秀男 (民生委員児童委員) 山口 秀俊 (鵜沼市民センター長) 鈴木 茂和 (元鵜沼中学校校長) 福島 和彦 (在校生保護者・鵜沼中学校 PTA 会長) 長谷川 友子 (在校生保護者・鵜沼中学校 PTA 副会長) 福成 夏奈 (在校生保護者・元鵜沼中学校 PTA 副会長) 後藤 渉 (前鵜沼中学校 PTA 会長) 三浦 洋介 (鵜沼中学校 教頭) 宮下 不二夫 (鵜沼中学校 教務主任) 以上 12 名
次第	1. 開 会 2. 自己紹介 3. 議 題 (1) 令和7年度 鵜沼中学校 概要について (2) 令和7年度 鵜沼中学校 運営方針について 「令和7年度 鵜沼中学校グランドデザイン」を全委員で確認 (3) 今年度の課題について 4. その他 ・今年度の会議日程 第2回 7月10日(木) 9:30～(会場:PC室) 5. 校内めぐり(授業参観) 6. 閉 会(12:30) 【配布資料】 ・藤沢市学校運営協議会規則 ・学校概要 ・学校運営方針

(1) 学校概要について

令和7年度の鵜沼中学校は、1年生が8クラスとなり、特別支援3学級を含め全25学級という市内最大規模でのスタートとなりました。引き続き地域の中学生数は増加傾向にあるため、今後もこの規模は維持されると予想されます。また来年度から中学校も35人学級になる予定のため、現在の2年生も8クラス規模になる可能性があり、今後予定されている改築後に生徒数が増加しないか懸念されています。

職員構成については、昨年度は教員不足が深刻でしたが、今年度は教育委員会の配慮により配置人数は改善されました。英語科担当教師は依然として不足している現状はありつつも現場教職員の不断の努力により何とかやり繰りできています。

校舎改築については、令和7年度中に設計が完了し、令和8年度の6月または7月頃に工事着工予定です。ただし、業者不足などの影響で遅れる可能性も考慮されています。工事は、まずグラウンド整備から始まり、現在のテニスコートなどを含む約3分の2が工事用地となります。新校舎は令和10年度に完成予定で、その後、現校舎の解体工事が行われます。令和9年度は体育館の大改装工事のため、1年間使用できない見込みです。これにより体育の授業や部活動に大きな影響が出ることが懸念され、教育課程を着実に実施できるように、と教育委員会への働きかけが行われています。卒業式や入学式は秩父宮体育館の使用が検討されていますが、費用や設備面での課題も残っています。プールについては残される予定ですが具体的な工事内容については未定です。校舎改築工事は令和12年度にグラウンドが完成するまで続く、長期的な計画となっています。近隣住民への影響も大きく特に令和10年度以降は騒音や砂埃などへの配慮が必要となります。

(2) 運営方針について

学校教育目標である「人間性の涵養に努める」「基礎学力の充実を図る」は、長年にわたり変更されていません。この目標こそが鵜沼中学校の真髄であると考えており、今後も変更する意図はありません。努力点についても同様に普遍的な価値を持つものとして維持されます。これらの目標は、藤沢市の教育目標や市民憲章、教育大綱、教育振興基本計画、学校教育藤沢ビジョンに基づいて設定されています。これらの市の指針を踏まえ、目指す学校像、生徒像、教師像をグランドデザインとして提示しました。これらの内容も昨年度から変更はありません。

「鵠沼中学校グランドデザイン」について

グランドデザインで示された目指す学校像、生徒像、教師像については、昨年度の【学校評価アンケート】から保護者からの評価は高いものの、教職員の自己評価は低いという結果が出ています。公立学校の教員は、赴任先の学校の教育目標に合わせて自身の教育スタイルを変えろという意識が低いのではないかと思われます。学校教育目標を教職員がどれだけ意識できているか不確かであるため、今後の研修などで意識付けを図りたい、とのことです。一方、教員からは昨年度は教員不足による負担が大きく、教育目標達成のための工夫をする余裕がなかったという意見が出ています。しかし、今年度は人員が補充されたことで、教員にも余裕が出てきている様子で、それと共に生徒の表情も明るくなっていると見受けられます。PTA 活動については、先生方は緊張感を持っているという意見も出されました。PTA 側は、中学校では小学校とは異なり、子供たちを守るといふよりも、学校生活を支えるというスタンスで活動しており、先生方との良好な関係構築を重視しています。また若い先生の中には、PTA 活動で保護者と接することに緊張感を抱いている人もいるため、温かく見守ってほしいという要望も出されました。

(3) 今年度の課題等

今年度の課題として、全員担任制・グループ担任制の校内研究が挙げられました。将来的に教員不足がより深刻化した際に備え、複数の教員で生徒を指導する体制を研究していく予定です。またスクールカウンセラーの体制についても変更があります。本校は県の指定するオンラインによるスクールカウンセラー配置校となり、オンラインカウンセリングの仕組みなどが報告されました。支援部から「鵠支援だより」のお便りが出され、スクールカウンセラー相談についての詳細や、【鵠ルーム】に関する情報発信もされました。不登校生徒については現状では増加傾向は見られないものの、今後増加する可能性もあるため、どのような対応が必要か、どんなことが出来得るのかを皆で考えつつ、引き続き注視していきます。

以上